

HIRAKATA T-SITE



多くの人が行き交う駅前広場から望む外観

review

選評

大阪と京都の中間地点、市街地に山が迫る郊外都市の枚方では、高度成長期に建設された再開発アパートの三七年後の閉店という、地方都市の縮図のような駅前空洞化に直面し、ここを創業の地とする建築主が、「枚方に元気を」という旗印のもと跡地の再々開発に立ち上がる。「本棚に囲まれ街に開かれたリビング空間」というその独特のライフスタイルを、企画・設計・施工が一体となり「賑わいと交流の拠点」として具現化することになる。

賑わいを誘発しているのは、吹き抜けを多用した断面構成だけでなく、舞台装置としての本棚が、新たな「交流のかたち」を編み出していることにもよる。まるで、市場、学校、図書館、美

術館の複合体であるかのように、飲食・物販・銀行などのテナントまたは地権者を縦横に再配置し、ブックストリートと軸に所有区分の壁を取り払い、「街の中の家」ならぬ「家の中の街」という交流の個性を獲得している。各所に設えた立ち寄りのスペースから、天井までの本棚が演出する木の素材感のラウンジまで、その全てが透明なファサード越しの「交流の映像」として駅前へと露わになる。人がいる情景は居場所探しの共感を呼び、「リビング空間」と駅前広場とを一体化することで、同郷人への親近感を誘い多くの市民が集う所となっている。

白く輝くシリンドラー状の突起は、室内においては落ち着いたスケール感の「静のリビング」を内包し、取り巻く多様な賑わいの「動のリビング」との対比をなし、室外においては本棚と一体になったスリムな輪郭の正面性に対し、上階に行くほど建屋を段状にセットバックさせ跳ね出しを大きく見せるその対比が躍動感を生み、積み木細工のような造形で視野を天空に抜く交互配列の屋上テラスが「駅前の立体広場」を高らかに謳い上げている。

施工においても、駅前広場の安全面などで詳細な検討がなされ、駅中マルシェの誕生など回遊性を復活した駅への接続ブリッジなどに細心の注意を払っている。一方、七二時間分の非常電源



駅直結のペDESTリアンデッキと接続する3階エントランス

〈2019年 第60回 BCS賞受賞作品〉愛知県立愛知総合工科高等学校／赤坂インターシティAIR（赤坂一丁目地区第一種市街地再開発事業）／ OIST 沖縄科学技術大学院大学 フェイズ1／太田市民会館／オーディオテクニカ本社／GINZA SIX／新発田市新庁舎／新山口駅北口駅前広場「0番線」・南北自由通路／東京ガーデンテラス紀尾井町／東京ミッドタウン日比谷／富山県美術館／ナセBA（市立米沢図書館・よねざわ市民ギャラリー）／HIRAKATA T-SITE／フェスティバルシティ（中之島フェスティバルタワー（東地区）、中之島フェスティバルタワー・ウエスト（西地区））／立命館大学大阪いばらきキャンパス



BCS賞は、建築の事業企画・計画・設計、施工、環境とともに、供用開始後1年以上にわたる建築物の運用・維持管理等を含めた総合評価に基づいて選考し、建築主・設計者・施工者の三者を表彰する建築賞です。この賞は、1960年にはじまり2019年で60回を数えました。



建築主より

Message from Client

株式会社ソウ・ツー
社長室

吉富聡 Satoshi Yoshitomi

地元への感謝からはじまり、HIRAKATA T-SITEがもたらしたCivic Pride

当社の創業の地として地元への感謝の想いと責任を持ちながらお客様(地域)に満足いただき、愛されるランドマークとなるべく地域のコミュニティーハブを目指しました。

計画に関わった地権者の皆様や設計・建設、維持管理・運営、出店して下さった店舗等様々な関係者の方にその想いをご理解と多様多彩な智慧をいただき、開業から3年が過ぎた今もお、多くの人にご利用いただいています。時の言い方をすれば「映え」、夜に枚方市駅に降り立つと街の灯、街のリビングとしてのT-SITEが見え、「帰ってきた」と思える知的で優しい景観がCivic Prideを創る源の一つになったと自負しています。

また、HIRAKATA T-SITEが起爆剤として枚方市駅前が都市再生緊急整備地域に指定され、これからも地域と共に時代の変化に対応しながら生活提案をしていきたいと思ひます。



設計者より

Message from Architect

株式会社竹中工務店
設計本部長

原田哲夫 Tetsuo Harada

「街のリビング」をつくる

HIRAKATA T-SITEは、高度成長期に建設された駅前再開発ビルの「再々開発」プロジェクトとして企画されました。用事がなくても立ち寄りたくなる、居心地のよい「街のリビング」における生活価値提案が、街の人びとの共感を生み出すきっかけとなります。「街のリビング」は、本に囲まれたヒューマンスケールな2層吹き抜けが位置を変え、街に開きながら垂直方向に連続した構成としました。駅前広場に突き出しているシリンダーは、内部空間としては「街のリビング」であるとともに、その上部は屋上テラスとして人々の食事やくつろぎの場所となる立体的な駅前広場となっています。ここで生まれる共感が街全体に広がり、街への愛着へと繋がることで地域コミュニティを再構築し、郊外駅前が鉄道ネットワークと連携したコンパクトな街づくりの拠点となることを目指しました。



施工者より

Message from Builder

株式会社竹中工務店
大阪本店 特任参与

中野達男 Tatsuo Nakano

地域活性化の要となる施設を三位一体で建設

京阪枚方市駅前再開発の核となる素晴らしいプロジェクトに、施工者として関われたことを感謝いたします。

当初、設計図面を見た時、非常に複雑な形状の設計に驚き、鳥肌が立ち、その後に武者震いがしたことを今でも鮮明に記憶しています。詳細を確認していくと益々難易度が高く、更に踏み込むと納まりの難しい箇所が多々あり、そこから設計、施工の強みである、品質、工期の作り込みを徹底しました。我々ゼネコンにとって、竣工がゴールではありません。この建物が将来にわたって健全で、メンテナンスが少なく、利用される方々に気持ち良く使っていただけことを念頭に、設計段階から施工段階の設計監理、施工管理まで妥協することなく邁進しました。その結果が今回の受賞に繋がったと確信しています。お客様との三位一体が竣工後も継続されることが、この賞の本来の価値であることをしみじみと感じています。



1. 駅前再整備の起点となるHIRAKATA T-SITE
2. 2階から1階パッサージュを見下ろす。
3. 4階、本棚に囲まれた2層吹き抜けの「街のリビング」
4. エリアとして分断されことなくブックストリートとつながる7階の金融ラウンジ

HIRAKATA T-SITE 計画概要

- 建築主 スパイルスター・グローバル・パートナーズ特定目的会社（代表）
- 設計者 (株)竹中工務店
- 施工者 (株)竹中工務店 (株)前田組
- 所在地 大阪府枚方市岡東町12-2
- 竣工日 2016年2月25日
- 敷地面積 2,723㎡
- 建築面積 2,494㎡
- 延床面積 17,533㎡
- 階数 地上9階、地下1階、塔屋1階
- 構造 鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造

【選考委員】 後藤春彦・堀部安嗣・尾崎勝

単なる商業施設の建設に止まらず、郊外都市の再生を先導する拠点として、再開発から再々開発への起点として、「街のリビング空間」のコンテッが、狭隘な駅前広場の拡張を機に大規模な周辺再整備を始動させようとしている。鉄道を結節点とするコンパクトシティの方向へと枚方を誘導できたのも、建築主の創業の地という幸運に拠るところが大きい。時間消費、コト消費の時空共有の魅力をここまで進化させてきたそのライフスタイルのパワーが、力強い郷土愛によって「賑わいと交流の文化」を発信し、公と私、官と民を統合する新たな「第三の場所(サードプレイス)」の誕生へと更なる進化を遂げようとしている。

や帰宅困難者の避難場所など防災拠点としての安全・安心に加え、「リビング空間」の室内照明で駅前を明るく灯すなど、公益性と利便性の領域を重ね、建築を仲立ちに、人と都市との距離を近づけ、駅周辺の活性化に繋げるタウンマネジメントの一助としている。